



ぴったり技術で
明日をつくる

NICHIBAN

NEWS RELEASE

ニチバン株式会社

2025年5月30日 11時00分

ニチバン巻心 ECO プロジェクト「森のしづく保全活動」を実施 ～ニチバン社員による植林活動～

ニチバン株式会社（本社：東京都文京区、代表取締役社長：高津敏明、以下「ニチバン」）は、2025年5月21日（水）に、日本製紙株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：野沢徹、以下「日本製紙」）が保有する広島県廿日市市の社有林にて、国内植林活動「森のしづく保全活動」を実施しました。

本活動は、使用済み粘着テープの巻心を回収・再利用する「第16回ニチバン巻心 ECO プロジェクト」の一環として行われたものです。「森のしづく保全活動」は植林や間伐など適切な手入れを行うことで、持続可能な森林資源を育成すると共に、空気や水をきれいにし、土砂災害を防ぐなど、森の本来の力を高める取り組みです。

ニチバンは、サステナビリティマネジメントの考え方方に沿って、地域社会の発展と社会課題の解決に貢献していきます。



今回は、社員が社会貢献活動へ積極的に参画する企業文化を醸成するため、全国の事業所から参加希望者を募り、20名のニチバン社員が植林活動に参加しました。

1. 実施日 : 2025年5月21日（水）
2. 植林エリア : 広島県廿日市市 日本製紙株式会社 社有林の一部
1ha (0.1ha×5~10年とし、今年は0.1haに植林)
3. 実施内容 : ①植林（スギエリートツリー苗、約200本）
②日本製紙によるニチバン社員勉強会「森林及び森林資源の機能と価値」
4. 協力企業 : 日本製紙株式会社
日本製紙木材株式会社
佐伯森林組合

※スギエリートツリー：成長が1.5倍以上（CO₂吸収5割増し）、花粉量が半分以下、幹が通直等の優れた特徴を持ち、農林水産大臣により認定された品種。主に、森林総研などが開発。

◆ニチバン巻心 ECO プロジェクトについて

各種使用済み粘着テープの巻心を回収し、資源として再利用する環境活動です。

回収した巻心は、段ボールにリサイクルされるとともに、リサイクルによる収益金と当社からの支援金を以下の2つの環境保全活動へ役立てます。①フィリピンでのマングローブの植林活動 ②国内での「森のしづく保全活動」（広島県廿日市市、島根県邑智郡川本町）

◆ニチバン巻心 ECO プロジェクト特設ウェブサイト

<https://www.nichiban.co.jp/project/makisin-eco/>

プロジェクト概要、過去15回の実績、参加団体の活動レポートなどがご覧になれます。

本件に関するお問合せ先

ニチバン株式会社 コーポレートコミュニケーション部 Tel:03-6386-7190

受付時間 9:00~12:00、13:00~17:00(土・日・祝日除く)

ニチバン公式ホームページ <https://www.nichiban.co.jp/>